障害者が安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けた共同宣言

平成28年7月26日、相模原市にある障害者支援施設「神奈川県立津久井やまゆり園」において、多くの入所者が殺傷されるという極めて凄惨な事件が発生しました。

この事件は、事件を引き起こしたとされる施設の元職員が、障害者の人権を侵害するような発言、差別や偏見を助長する発言をしていたと伝えられており、障害者やその家族、障害者の支援に携わる方をはじめ、多くの方々に不安や悲しみ、言いようのない怒りを与えました。

この事件を受け、障害者支援施設などでは、安全管理を強化することによる地域との関わりへの影響が懸念されておりますが、これまでと同様に、地域との交流を深めつつ、施設の安全性を高めていかなければなりません。

指定都市では、これまでも障害者の暮らしを支え、障害に対する理解を促進する取組を進めてまいりましたが、このような事件が二度と起こらないようにするためには、一人ひとりがより一層障害者への理解を深め、偏見や差別の無い社会を築き上げなければなりません。

そこで、指定都市市長会は、全ての人の命は平等でかけがえのないものであるという理念のもと、障害の有無にかかわらずあらゆる人の尊厳が守られ、安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、市民の皆様とも連携しながら、強い決意を持って全力で取り組んでいくことを宣言します。

平成28年11月24日

指定都市市長会